I·O DATA

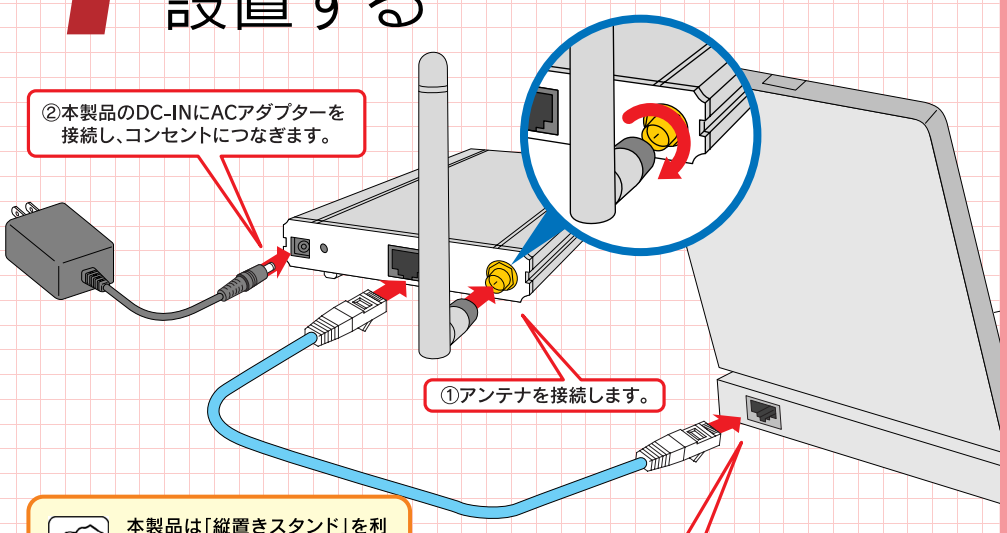
無線アクセスポイント
WN-APG/A
かんたんセットアップガイド

Mac OS X の場合

無線アクセスポイントのセットアップ方法を説明します。

151458-01

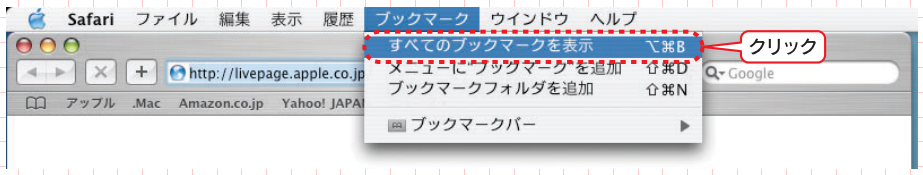
1 アクセスポイントを設置する



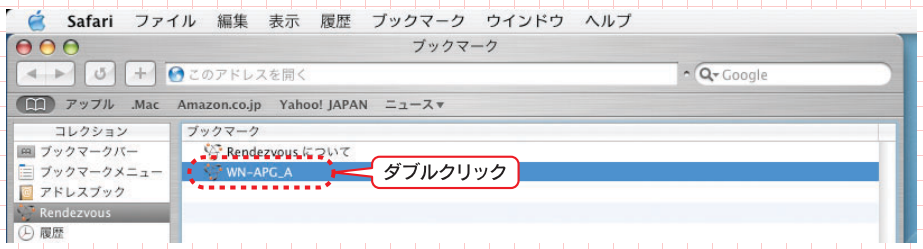
参考 本製品は「縦置きスタンド」を利用しての縦置き、「壁掛けキット」を利用しての壁掛けもできます。詳しくはオンラインマニュアルをご覧ください。

2 設定画面を開く

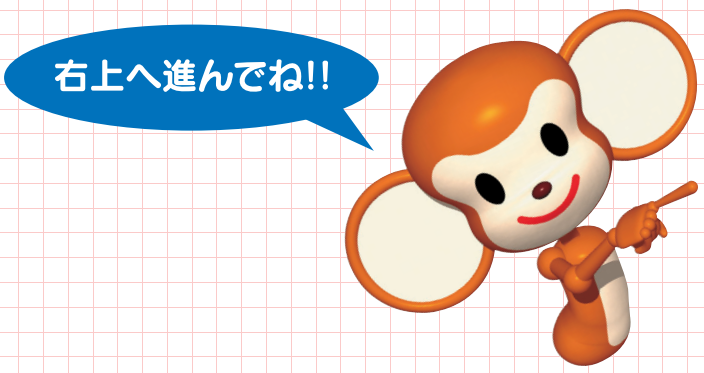
1. Webブラウザ「Safari」を起動します。
2. メニューバーの[ブックマーク]→[すべてのブックマークを表示]をクリックします。



3. コレクションの[Rendezvous]から、[WN-APG_A]をダブルクリックします。
⇒本製品の設定画面が起動します。



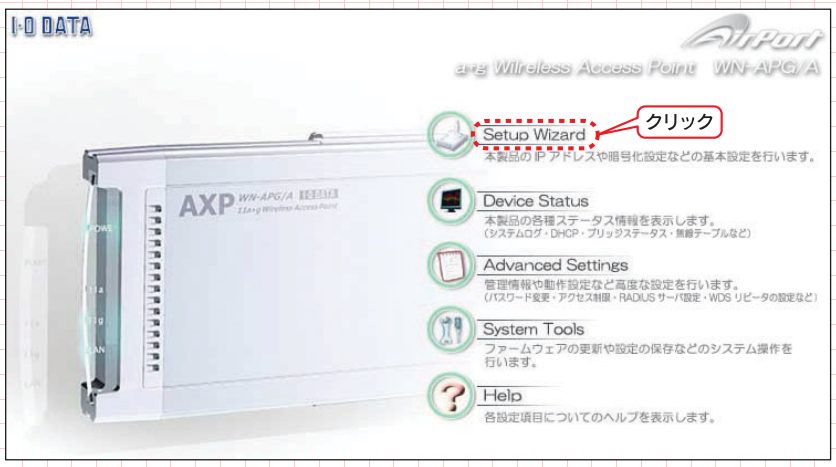
注意 本製品が見つからない場合は、30秒ほど待ってから再度上記を行ってください。



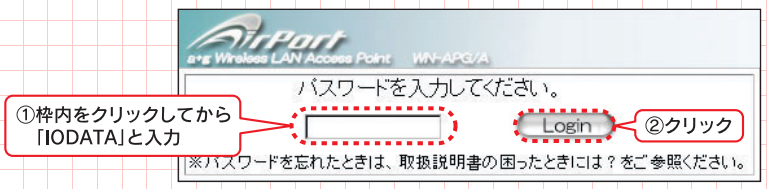
3 アクセスポイントを設定する

セットアップウィザードの手順にしたがって、本製品の設定を行います。

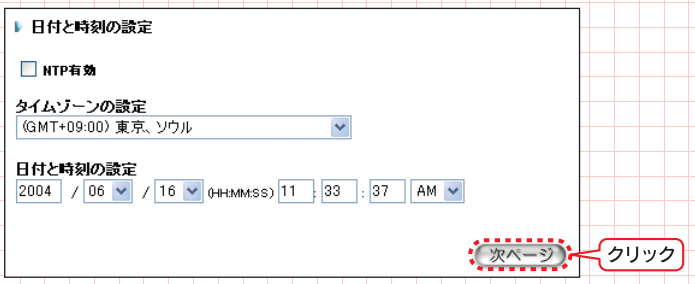
1. [Setup Wizard]をクリックします。



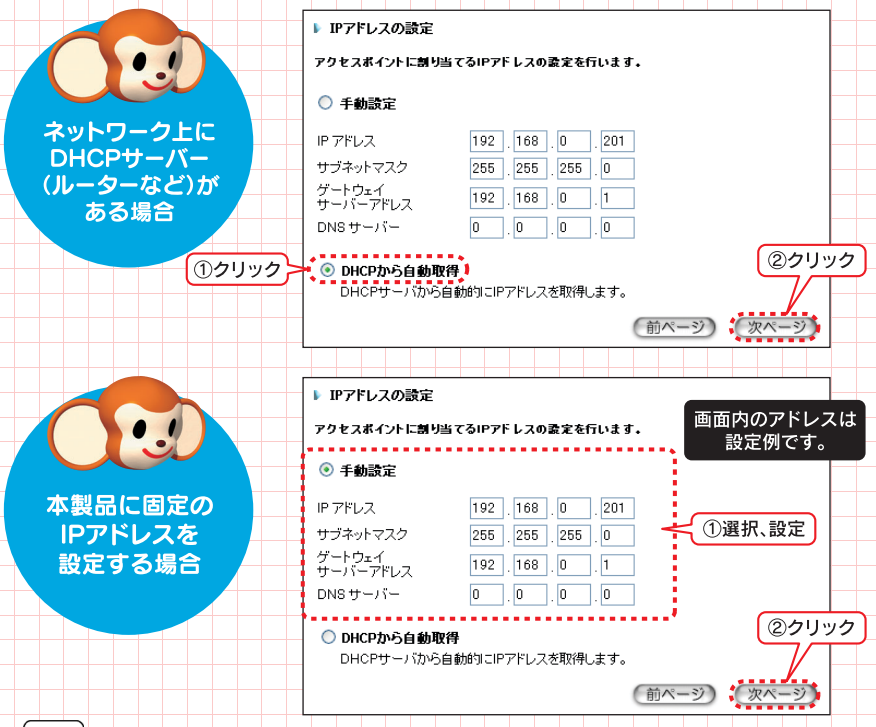
2. 枠内をクリックしてから「IODATA」(大文字、半角英字)と入力して、[Login]ボタンをクリックします。



3. [次ページ]ボタンをクリックします。通常、設定の必要はありません。



4. 本製品のIPアドレスを設定します。



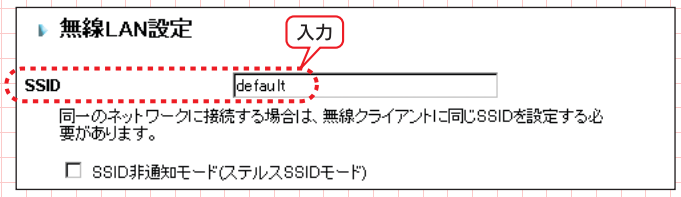
参考 本製品のIPアドレスは、設定用パソコンのIPアドレスと同じサブネット上に設定してください。

IPアドレス	IP本製品に割り当てるIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	導入するネットワークに合わせたサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ サーバーアドレス	導入するネットワークのゲートウェイサーバーのアドレスを設定します。(ルーターなどのIPアドレスを入力します)
DNSサーバー	本製品が参照するDNSサーバーのアドレスを設定します。(ルーターなどのIPアドレスを入力します)

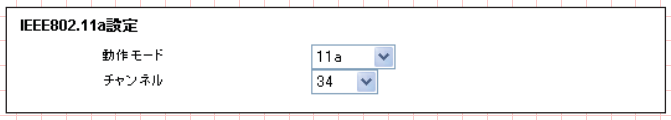
5 画面が表示された場合は内容を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

6 [SSID]を決めます。

SSIDは、無線LANアダプター設定時に必要です。メモすることをおすすめします。
32文字までの半角英数字で入力します。大文字/小文字の区別もあります。
(初期値:default)
SSIDを無線LANアダプター側に通知しない場合は、[SSID非通知モード]にチェックを付けます。

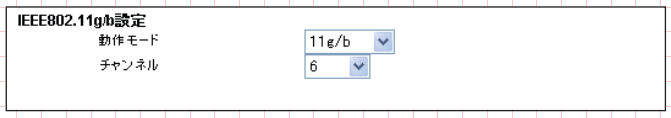


7 IEEE802.11aの動作モードとチャンネルを設定します。



動作モード (初期値:11a)	IEEE802.11a無線LANの動作モードを設定します。 ●11a:IEEE802.11aで動作します。 ●SuperA:SuperAで動作します。
チャンネル (初期値:34)	本製品の近くに他のアクセスポイントがある場合は、それぞれの機器で別の通信チャネルの値を設定してください。本製品以外にアクセスポイントがない場合は、初期値のまま変更する必要はありません。 ●34、38、42、46から選択できます。 Autoに設定した場合、設定時の1回のみ、自動設定します。

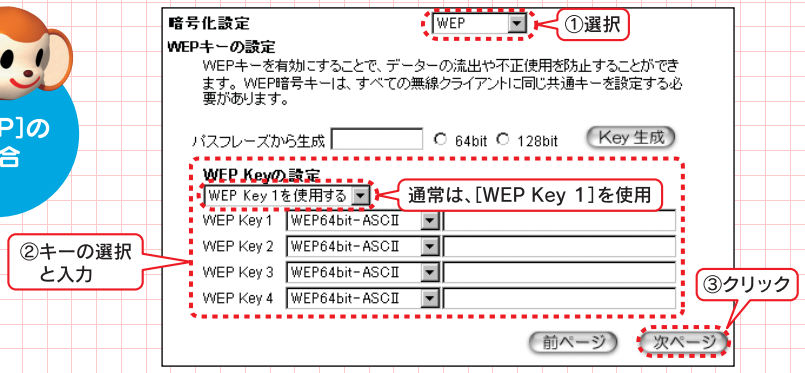
8 IEEE802.11g/bの動作モードとチャンネルを設定します。



動作モード (初期値:11g/b)	IEEE802.11g/b無線LANの動作モードを設定します。 ●11g/b:IEEE802.11gとIEEE802.11bを同時に使用できます。 ●11g only:IEEE802.11gのみで動作します。 ●SuperG:SuperGで動作します。
チャンネル (初期値:6)	本製品の近くに他のアクセスポイントがある場合は、それぞれの機器で別の通信チャネルの値を設定してください。2.4GHz帯(IEEE802.11g/b)を使用する場合は、電波干渉を防ぐため5チャンネル間隔をあけることをおすすめします。本製品以外にアクセスポイントがない場合は、初期値のまま変更する必要はありません。 ●1～13から選択できます。 Autoに設定した場合、設定時の1回のみ、自動設定します。

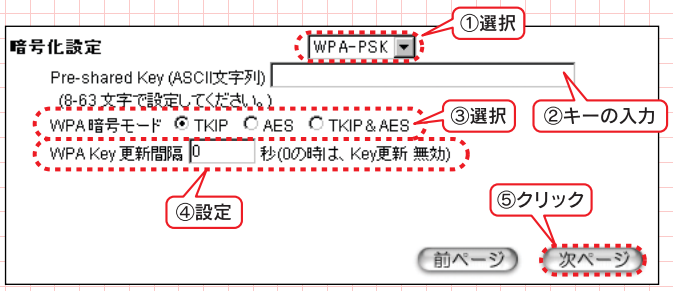
9 暗号化を設定して、[次ページ]ボタンをクリックします。

暗号化設定は、無線LANアダプター設定時に必要です。
メモすることをおすすめします。



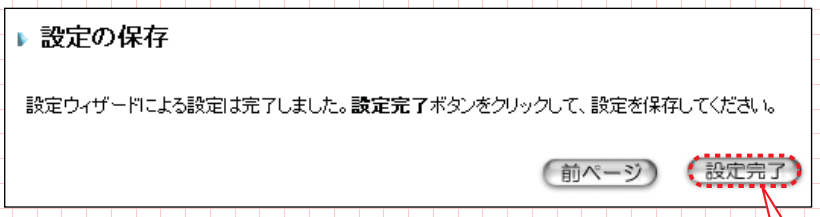
WEP Key	●16進数:0～9またはA～Fの文字列を入力します。 ●ASCII:半角英数字を入力します。 下記の文字数でWEP Keyを決めてください。 64(40)ビット: ASCII 5文字 / 16進数 10文字 128(104)ビット: ASCII 13文字 / 16進数 26文字 152(128)ビット: ASCII 16文字 / 16進数 32文字 無線LANアダプターなど通信相手側も同じ暗号キーの種類で設定する必要があります。通常は、[WEP Key 1]を使用します。

※[パスフレーズ]で設定する場合は、オンラインマニュアルをご覧ください。



②Pre-shared Key	8～63文字の半角英数字で入力します。
③WPA暗号モード	WPA-PSKでの暗号化方式を選択します。 ●[TKIP]:TKIP方式で暗号化します。 ●[AES]:AES方式で暗号化します。(TKIPより高度な暗号化です。) ●[TKIP&AES]:TKIP方式とAES方式どちらの暗号化設定の無線LANアダプターにも対応します。
④WPA Key更新間隔	キーの更新時間を設定します。 ※0の時は、更新無効

10 [設定完了]ボタンをクリックします。



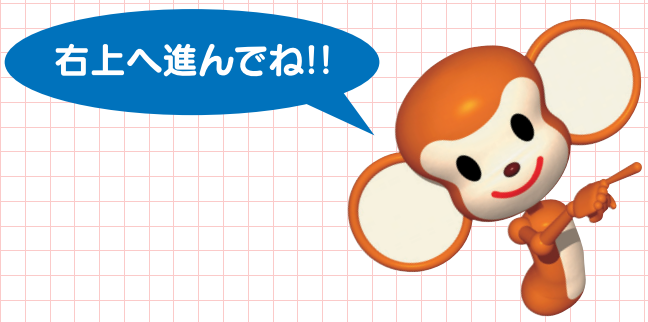
参考

●暗号の種類の選び方

本製品と無線LANアダプターの暗号化の種類を一致させる必要があります。本製品と通信する無線LANアダプターが対応している暗号の種類を確認してください。(詳しくは、無線LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。)
無線LANアダプターが[WPA-PSK]に対応している場合は、WEPより高度な暗号化である[WPA-PSK]に設定することをおすすめします。
無線LANアダプターが[WEP]のみに対応の場合は、[WEP]に設定してください。

●[WPA]および[802.1x]について

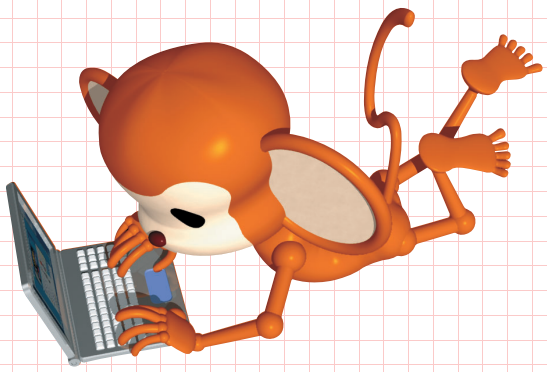
これらは、Radius認証サーバーを使用した高度な認証方式で、企業など特に高度なセキュリティーが必要な場合に使用します。
この機能の運用には別途Radius認証サーバーと電子証明書発行サーバーの構築が必要になります。
これらの仕組みを理解した上での運用が必要になりますので、通常は[WEP]や、[WPA-PSK]を使用してのセキュリティー強化を行ってください。(設定方法については、CD-ROM内のオンラインマニュアルをご覧ください。)



4 無線LANアダプター側の設定をする

本製品に設定した[SSID]、[暗号化]にあわせて、無線LANアダプター側の設定を行います。方法については、無線LANアダプター側の取扱説明書をご覧ください。

これで設定は完了です。



デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター:〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ:http://www.iodata.jp/support/